

6がつ 園だより

令和6年6月3日
南流山幼稚園

「時には気持ちよく叱ってください」

子どもたちは小さいながらも幼稚園で自分の居場所を探しています。話せるおともだち、そばに寄り添って安心できるおともだちを自分の生きる力で探しています。そんな子どもたちを、お母さんとお父さんは、いつも変わらずに励まし支えてくれています。



登園をしぶる我が子に「行くんですよ」と言い切る姿。我が子は泣いているのに、にこにこ動ぜず正門前でたたずむ親の姿、凄いなと親御さんの思いを感じます。

逆に、一般的な社会現象として様々な場面で、毅然と我が子をしつける姿が足りなくなってきたなども感じています。しつけとは、礼儀作法をその人の身につくように教え込むことです。つまり、しつけをする大人の揺るぎない信念がなくてはなりません。私の見た事例を取り上げます。電車に乗って動き回っていた子どもへの親の言葉です。「電車に乗っている人に怒られますよ」でした。電車に乗っている時のマナーを教え込む時ですよ。だから「電車内では動き回りません。他の人に迷惑です」とずばり言ってほしかった。今、自分が我が子のいいなりになっていないかと思う瞬間はありませんか。それって大事です。子どもには「だめなことはだめ」と言い切るべき瞬間があります。「だめ」といえば子どもは不満顔になります。その不満顔をぐっと我慢しなければなりません。してはいけないことを学ぶのは、まず第一に親でなければなりません。子どももそこそ自分で気付いています。心から叱れば子どもが親を嫌いになるなんてことはありません。むしろ悪いことをはっきりと叱ってくれる親を子どもは大きくなってから誇りに思えてくるのです。

さて幼稚園での一コマ。

朝の着替えに手間取っている園児に、担任の先生が語っている言葉。「まだなの？」ではなく「もう、そこまで準備できたんだね！」でした。なるほどと感心。

食事中に立ってしまう園児がいました。担任の先生が「食事中はすわってね」と一度だけ注意しました。でもその子は立ったまま動き続けていました。よく担任の先生はがまんできるなと思ってみていました。すると、その子が急に自分の席に座った瞬間です。「えらい、自分で座れたね」という言葉。思わず、感心。

教育という仕事は崇高で手抜きは子どもたちからすぐに見透かされます。本気でない言葉や態度は子どもたちの心を動かしません。だから私達は明るく表情を豊かにしようと日々懸命に努めています。お父さんやお母さんの立場で考えると、仕事や家事で疲れ切った後、我が子にいつでも真剣に向き合うなんて大変ですよ。よくわかります。なぜなら、私達も若い頃、そうでしたから。でも子育ては美しき戦いです。頑張ってください。応援しています。

最後に、会津藩校日新館の教えを取り上げたいと思います。祖先が残してくれた言葉や文化には、時として背筋の伸びる思いがいたします。

「ならぬことはならぬものです」……素敵な言葉ですね。

園長より

*公認心理師の定期的な巡回相談があります。遠慮無く担任までご相談ください。
 *リサイクル回収日は、11日(火)、12日(水)となります。

6月の主な行事予定			
3・月	衣替え・防犯訓練	17・月	振替休日
4・火	虫歯予防デー	18・火	個別面談(午前保育)
6・木	水遊び開始	19・水	個別面談(午前保育)・園庭開放日
7・金	プール開き	20・木	個別面談(午前保育)
12・水	園庭開放日	21・金	個別面談(午前保育)
14・金	年少親子で弁当会	26・水	園庭開放日
15・土	保育参観日	28・金	6月生まれ誕生会



年中組消防署見学(5/14) 平和台幼稚園の年長さんと遊ぶ(5/21)

7月の主な行事予定			
2・火	おばけ大会	12・金	夏祭り(午前保育)
5・金	プール終了・七夕の会	16・火	午前保育開始
8・月	笹燃やし	17・水	もうすぐ夏休みの会
9・火	7月生まれ誕生会	18・木	学級懇談会
11・木	夏祭り(午前保育)	19・金	第1学期終業式

